

「腎盂尿管がんの治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究」 へのご協力のお願い

— 1990年1月1日～2016年3月31日の間に
当科において腎盂尿管がんと診断された患者さんへ —

1. 研究の概要

1) 研究の意義

腎盂尿管がんは腎盂尿管の尿路上皮から発生する悪性腫瘍ですが、膀胱癌に比べても頻度が低く、十分な研究がすすんでいません。一つの施設の症例だけではなく、複数の施設が協力して症例を蓄積することが重要になります。

2) 研究の目的

腎盂尿管がんと診断され当院で治療を行った患者さんを対象とし、その時の状態がどうだったかやその後の経過についてまとめることを目的としています。

この研究は東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科講師 中川 徹先生を中心として行っており、最終的には東京大学において症例をまとめて解析します。

2. 研究の方法

1990年1月1日～2016年3月31日の間に当院において腎盂尿管がんと診断されて治療を行った患者さんを対象とし、診療録（カルテ情報）ならびにCT・MRIなどの画像情報、血液データ、病理検査結果を元に、病歴・手術所見・治療内容・転帰などについて詳細な研究を行います。

1) 使用する試料・情報

本研究では通常の診察に行っている採血・採尿検査、画像情報および病理検査結果を使用します。研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 腎盂尿管がんの診断時や治療後の情報（検査データ、画像情報、病理検査結果、診察所見、治療内容など）

2) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後10年間保存させていただきます。

3) 情報の保護

患者さんの情報は、匿名化したうえでID・パスワードを用いて厳重に管理します。

3. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

この研究では個人情報を扱いません。

この研究ではあなたのデータを個人情報がわからない形にして収集します。研究の結果は、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

4. あなたの情報の使用を望まない場合

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。また、通常の外来において主治医に申し出ていただいても構いません。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

※この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【 本研究の観察研究代表者および研究事務局 】

観察研究代表者

鈴木 基文

東京通信病院 泌尿器科 部長

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-14-23

TEL : 03-5214-7111

FAX : 03-5214-7384

E-mail : mosuzuki@tth-japanpost.jp